

水土里ネット秋田 新任職員の紹介

4月1日付の人事異動で、本会の技監として秋田県農林水産部課長待遇の石井正幸氏が派遣となりました。また、新たに3名が新規採用となりましたので紹介します。

【1. 所属・役職 2. 前職（出身校） 3. 抱負（自己PR）】



いし い まさ ゆき
石井 正 幸

1. 技 監
2. 秋田県農林水産部
農山村振興課・主幹

3. 農業農村基盤の一翼を担う土地改良も現在は間口が幅広くなっており、関係機関と積極的に連携しながら、より公益性と効果の高い事業展開を図っていく中で、自分なりに役割を果たし、少しでも本会の発展に貢献できるよう努めてまいりますので、皆様の御指導を宜しくお願いします。



さ さ き たか ゆき
佐々木 孝 行

1. 管理情報部集落環境班・技師
2. 東北学院大学大学院工学
研究科土木工学専攻

3. 社会人としての不安もありましたが、先輩方の丁寧な指導や雰囲気緊張も解れてきました。今後は皆さんに仕事を安心して任せられると思って頂けるよう頑張ります。よろしくご指導のほどをお願いいたします。



と がし よし なお
富 樫 佳 直

1. 農地整備部農地整備班・技師
2. 弘前大学農学生命科学部

3. ふるさと秋田の農業を支える仕事をしたいと思っています。秋田の発展や東北地方の復興に貢献できるように頑張ります。よろしくお願い致します。



さ さ き よし お
佐々木 義 男

1. 管理情報部・専門員
2. 秋田県八郎潟基幹施設
管理事務所・所長

3. 農業用排水施設の適正な保全管理の実施を支援して行きたいと思っております。皆様よろしく申し上げます。

連 合 会 日 誌

4月12日	全国水土里ネット理事会、臨時総会	東京都
4月14日	平成23年度仙北支部全体会及び仙北土地改良推進協会総会	大仙市
4月15日	秋田県土地改良事業団体職員会秋田支部平成23年度通常総会	秋田市
4月22日	第40回秋田支部通常総会	秋田市
4月25日	本会第1回監事会	本会「第1会議室」
4月25日	本会第1回理事会並びに役員会	本会「第1会議室」
4月25日	大館地区土地改良区連絡協議会平成23年度定例総会	大館市
..... 今後の行事予定		
4月26日	山本支部全体会	能代市
4月27日	第7回大館・北秋田支部全体会	北秋田市
4月28日	平成23年度雄勝支部全体会	湯沢市
4月28日	平成23年度鹿角支部全体会	鹿角市

特集

地域からの
情報発信

21創造運動の取り組み〔水土里ネット釈迦内〕

大館・北秋田支部水土里レポーター 北林 正志



平成22年に大館市内4土地改良区（大館市、釈迦内、花矢、下川沿）が合併し、大館市土地改良区として発足しましたが、合併前の旧大館市釈迦内土地改良区の21世紀土地改良区創造運動の取り組みを紹介します。

大館市は秋田県の内陸北部、青森県境に位置し、釈迦内地区は市域の北部、一級河川米代川の支流の一つ下内川左岸とJR奥羽本線に挟まれた幅1.2km、長さ3.0kmの細長い平坦地である。農家の殆どは稲作が中心で、粘質の肥沃な土と気温は、山間地域特有の寒暖の差が良質米として食味に反映されている。



昨年、地元釈迦内小学校5年生を対象に社会科授業の一環で「日本の農業について」と題した稲作体験を実施。田植えは昔ながらの型枠（ゴロ）による手植えとあって最初は戸惑いながらも時間とともに手際さ、生徒の働きぶりは、頼もしい限りであった。

秋の収穫には地元の向陽幼稚園（26名）も参加し、刈り取った稲の棒掛けなどで、皆が楽しい一日の思い出

になったことと思う。

次回からは、田植えに園児も参加することになっており、土地改良区は田んぼだけでなく、地域の活性化と地域資源、環境にも重要な係わりがあることを理解してもらうための活動を計画し、進めていく事としている。



特集 農業水利施設内の「ゴミ」問題 シリーズ⑤

水土里ネットが管理する農業水利施設におけるゴミ発生状況

1 水土里ネットあたりの処理経費50万以上が28%で、最大では660万円の処理費用を負担、秋田県全体の処理経費としては、**5,200万円**となっている。（平成22年度調査・観察結果より）



平成23年度農業水利施設「ゴミゼロ」対策の取組み内容

○農業水利施設でのゴミ発生原因の研究とゴミ処理経費の軽減取組み

1. アンケート聞き取り調査（前年度の追跡調査）
 灌漑期（5月～8月）における管理人の処理経費等
2. ゴミマップの作成（前年度の調査結果を基に作成）
 22年度の水利施設調査341施設（うち基幹的施設311施設）
 《基幹的施設の内訳》
 ・ダム、ため池：24 ・頭首工：79 ・揚水機：110 ・水路：93
 ・その他：5（水門、樋門、畑かん、取水口等）

○農業者への農業ゴミ防止に対する意識の浸透と、地域活動を通じた住民へのゴミ投棄防止への取組み

1. 会員水土里ネットの広報誌等に「ゴミ捨て防止」コーナーを設けて頂き、農家への啓発活動を実施
2. 他機関が実施する活動への積極的参加
3. 本会会報誌「秋田の土地改良」及び本会ホームページでの広報活動の継続実施

会員だより

事務所移転のお知らせ

- 本荘東由利土地改良区（H23.4.1）
 （新所在地）〒015-0086
 由利本荘市館字石沢館7番地
 TEL.0184-29-2042 FAX.0184-29-2942
- 仙北市田沢湖若松堰土地改良区（H23.4.2）
 （新所在地）〒014-1113
 仙北市田沢湖卒田字荒町32
 TEL・FAX 0187-44-2122

新理事長就任のお知らせ

- 次の方々が新たに理事長に就任されました。
- 大仙市神宮寺松倉堰土地改良区（H23.1.21）
 理事長 齊藤 泰幸
 - にかほ市土地改良区（H23.4.1）
 理事長 伊藤 盛雄
 - 大仙市大曲土地改良区（H23.4.1）
 理事長 佐藤 孝次
 - 仙北市田沢湖若松堰土地改良区（H23.4.2）
 理事長 高橋 達
 - 大館市土地改良区（H23.4.6）
 理事長 佐藤 恭一
 - 戸村土地改良区（H23.4.15）
 理事長 須田 誠

インフォメーション

第9回 水土里のみちウォーキング in 仁井田 walk

— ガンパロー東北！ 上を向いて歩こう。 —



- 〔主催〕 水土里ネット仁井田堰、秋田県ウォーキング協会
- 〔共催〕 秋田県、秋田市、秋田市教育委員会、水土里ネット秋田、水土里ネット秋田支部
- 〔主管〕 水土里のみちウォーキングin仁井田ウォーク実行委員会
- 〔協賛〕 J A新あきた、秋田中央農業共済組合
- 〔後援〕 秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会、エフエム橋台79.6MHz、秋田県サイクリング協会、財団法人秋田市勤労者福祉振興協会

開催日時 平成23年6月19日（日） ●ロングコース 9時出発式（8時30分～受付開始）
●ショートコース 9時出発式（8時30分～受付開始）

開催場所 秋田市四ツ小屋周辺（集合場所：秋田市御所野 県老人福祉総合エリア内駐車場）

- コース**
- ①**ロング・コース14km** 【所要時間：約3時間30分】
 エリア駐車場（スタート） → 四ツ小屋幹線水路 → せせらぎ水路広場 → ヤブレ沼 → 秋雄大橋 → 本田橋 → 豊成橋 → 仁井田堰頭首工 → 保量神社（仁井田堰幹線用水路） → 白山神社 → エリア駐車場（ゴール）
 - ②**ショート・コース6km** 【所要時間：約2時間】
 エリア駐車場（スタート） → 四ツ小屋幹線水路 → せせらぎ水路広場 → ヤブレ沼 → 白山神社（仁井田堰幹線用水路） → エリア駐車場（ゴール）

募集定員 250名（ロングコース100名、ショートコース150名）

参加費 一般 300 円（傷害保険料等）、中学生以下は無料（幼児・児童は保護者同伴のこと）
※参加費の一部は「東日本大震災」への被災者義援金とさせていただきます。

記念品 完歩者には「お米」、「記念品」、「水土里のみち完歩認定証」をプレゼント

申込み切 参加希望者は、ハガキに必要事項を記入の上、下記まで申してください。
 ①参加者氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号 ⑥参加コース（14kmまたは6km）
平成23年6月3日（金）必着
 ※ 参加の可否は、後日ハガキにてお知らせいたします。（当日受付不可）

〔申込・問い合わせ先〕 水土里のみちウォーキングin仁井田ウォーク実行委員会（水土里ネット仁井田堰）
 〒010-1421 秋田市仁井田本町4-5-20 TEL.018-839-2504 FAX.018-839-2292

本会の時差出勤体制（平成23年度～）について

水土里ネット秋田では、平成18年度から地球温暖化対策と秋田市内の交通渋滞緩和に対応するため時差出勤を試行してきましたが、平成23年度からは一層の地球温暖化対策と併せて職員の柔軟な勤務体制の対応を目的に、通年にわたり実施することになりましたのでお知らせいたします。

●実施期間：平成23年4月1日～

勤務区分	勤務時間
通常	午前8時30分から 午後5時15分まで
時差(早)	午前7時30分から 午後4時15分まで
時差(遅)	午前9時30分から 午後6時15分まで

※休憩時間は、午後0時から午後1時まで（変更なし）

編集後記

◆3月11日、「東日本大震災」が発生しました。国内観測史上最大の地震と大津波、さらには原発事故とまさに未曾有の大災害です。直接的な被害の少なかった県内でも、1日以上停電、ガソリンや食料を求めての行列など、初めての出来事ばかりでした。何ら不自由しない生活の中で、自然の恐ろしさと人間の無力さを再認識させられた今回の大震災です。太平洋側を中心に今も余震が続いていますが、秋田沖には「地震空白地帯」があり、いつ災害が起こっても不思議ではないと言われていました。その時に慌てず、騒がず、冷静に行動するためにはどうしたら良いのか？…今回の大震災や2度目の停電（4月7日深夜）を踏まえ、今一度考えてみてはどうでしょうか。ガンパレ東北！ガンパロー日本！被災地の1日も早い復興を願っています。
 （広報・渉外班◆嵯峨記）

表紙写真 美しく豊かな農村づくり写真コンクール入賞作品「初体験」

※本印刷用紙は、大昭和板紙秋田工場で生産された「地産地消製品」を使用しております。